資料１－３

外部評価対象事業に係る質問項目一覧

１　質問提出状況等

〇外部評価対象事業　　事業数：２１　　対象所管課：８課
〇質問のあった事業　　事業数：１８　　対象所管課：７課
〇質問のなかった事業　表１のとおり　　※幼児政策課は質問のあった事業数０

表１. 質問のなかった事業

数値目標No.	事業名	担当課
	事業所内保育事業推進事業	のびのび安心子育て課
36	認可保育所等の拡充	のびのび安心子育て課
37	私立幼稚園預かり保育事業の充実	幼児政策課

２　ヒアリング事業の選定について

〇会議全体が 90 分程度のため、ヒアリングに係る時間は 60 分程度を想定
〇１事業に最低５分程度は必要としたときに係る所要時間は表２のとおり
※事象数①、所要時間①は質問のあった事業全てにヒアリングを行う場合、事業数②、所要時間②は一部を書面回答とした場合のヒアリング事業数及び所要時間
〇ヒアリングに係る所要時間を考慮し、一部の事業についてはヒアリングを実施せず、書面による回答とさせていただきたい。

表２. ヒアリングに係る所要時間

所管課	事業数①	時間①	事業数②	時間②	ヒアリング候補（案）	書面回答候補（案）
地域保健支援課	3事業	15分	3事業	15分	33、70、79	
子育て支援政策課	6事業	30分	3事業	15分	71、72、75	76、77、102
子ども家庭総合センター総務課	1事業	5分	1事業	5分	73	
地域医療課	1事業	5分	1事業	5分	74	
青少年育成課	4事業	20分	3事業	15分	84、104、105	78
保育課	2事業	10分	1事業	5分	85	80
のびのび安心子育て課	1事業	5分	1事業	5分	81	
幼児政策課	0事業	0分	0事業	0分		
計	18事業	90分	13事業	65分		

外部評価対象事業に係る質問項目一覧（所管課：地域保健支援課1/2）

※推進事業の取組状況については資料１－４をご参照ください

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
33 Ⅱに再掲	出産前教室の実施	地域保健支援課	初めて出産する妊婦とその夫を対象に、妊娠・出産・産褥及び育児に関する講義や実習等を各区役所で実施します。

＜質問事項＞

1	なぜ「両親学級」等とせず「出産前教室」という名称にしているのでしょうか。（出産をする妊婦さんだけが対象と思われそうですが、もし、流産や死産等「親」になれない方への配慮であれば、結構です。） また、夫の参加率を把握されていたら、ご教示いただきたい。（統計をとっていなければ結構です）。
2	利用者の男女比はどれくらいでしょうか。また、そこから見えてくる男女共同参画推進の課題はありますでしょうか。
3	参加者のうち、夫の人数（あるいは夫婦での参加の割合など）を教えてください。
4	「夫の理解と協力を促」す内容とは具体的にどのようなものでしょうか（促すために工夫して伝えていることや取り組んでいることなど）。
5	参加しない人、参加できない人がむしろ問題を抱えていると思われますが、その方たちへの働きかけはどうなっていますか。

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
70	育児学級の開催	地域保健支援課	おおむね生後２～３か月の児とその保護者を対象に、育児について学び、親子のふれあいや親同士が交流する場を提供し、子どもの発育・発達や母子の愛着形成などの情報を発信し、育児不安の軽減を図るため「育児学級」を各区役所で実施します。 【数値目標】 「育児不安軽減者の割合」 78.3%（平成29年度末） →80%以上（平成35年度）

＜質問事項＞

1	「母子の愛着形成」の情報とは具体的にはどのようなことでしょうか。
2	事業内容に「母子の愛着形成など」とありますが、やはり生後２～３か月の乳児なので、父親よりも母親を主眼においた事業でしょうか。父親向けの内容があればご教示いただきたい。また、父親の参加率を把握されていたら、ご教示いただきたい（統計をとっていなければ結構です）。
3	父親の育児参画については取組は行っていますでしょうか。
4	男女行動参画推進の課題として、平日開催の育児学級は父親が参加しづらい点が挙げられる。両親で参加しやすい休日開催が理想と考えるが、今後、父親の参加率を上げる取組みを考えているのか教えていただきたい。
5	利用者の男女比はどれくらいでしょうか。また、そこから見えてくる男女共同参画推進の課題はありますでしょうか。また、「各区の状況」、「各区の特性」とはどのようなものでしょうか。

外部評価対象事業に係る質問項目一覧（所管課：地域保健支援課2/2）

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
79 Ⅵに 再掲	ふれあい親子支援事業	地域保健支援課	子育てに関する悩みを抱える母親同士が、話し合いを通して不安を解決できるよう支援を行い、虐待の防止や早期発見に取り組みます。 【数値目標】 「自分の気持ちを話せる母親の割合」 100％（平成29年度末） →100％（平成35年度）

＜質問事項＞

1	「20回開催し、延べ13人」とありますが、参加者人数が少ないと感じます。単純平均を取れば、一回あたり、13／20=0.65人しか参加していません。「話し合いを通して不安を解決」が支援内容となっていますから、複数の参加者が好ましいと考えます。参加者増大に対する取り組みについてお知らせください。
2	20回開催、延べ13人参加とはどういう意味でしょうか（「延べ」ではないのでは）。
3	「自分の気持ちを話せる母親の割合」とはどのような設定でどのように測っているのでしょうか。
4	深刻な問題を抱えていると参加しない場合もあると思われますが、その方たちへの働きかけはどうなっていますか。また、別の対応をされているのでしょうか。
5	男性保護者の参加は、どのくらいでしょうか。
6	題名は「親子」となっているが、母親限定の取り組みのようである。「母親」限定にしている理由はなにか、また父子家庭等で悩みを抱える「父親」対象の同様の取り組みがあるのかお聞きしたい。
7	事業名が「親子」でありながら、事業内容等には「母親同士」、「母子関係」とあります。母親向けの事業でしょうか。
8	父親に対する同様の施策はありますでしょうか。
9	母親のみが対象なのでしょうか。父親等を対象とする事業が他にあるのでしょうか。

外部評価対象事業に係る質問項目一覧（所管課：子育て支援政策課1/2）

※推進事業の取組状況については資料1－4をご参照ください

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
71	ファミリー・サポート・センターの充実	子育て支援政策課	育児の援助を受けたい方（依頼会員）と育児の援助を行いたい方（提供会員）からなる会員組織で、会員による相互援助活動の調整などをアドバイザーが行います。

＜質問事項＞

1	提供会員が、保育・医学・衛生・安全等に関する十分な知識を持っているか、不安です。特に「援助を行いたい」という好意が動機で「マッチング」という一過性を含むサポート事業のため、提供会員の質を確かめることが大切と考えます。 質向上の取り組みについて、ご説明をお願い致します。
2	依頼会員数および利用実績（マッチング成立数など）を教えてください。
3	利用者の男女比はどれくらいでしょうか。また、そこから見えてくる男女共同参画推進の課題はありますでしょうか。
4	提供会員の確保の難しさはどこにあると分析されていますか。また、確保の工夫はどのようにされていますか。

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
72	子育てヘルパー派遣事業	子育て支援政策課	体調不良などで昼間、家事や育児の手伝いをしてくれる方がいない子育て世帯にホームヘルパーを派遣し、家事・育児支援を行います。

＜質問事項＞

1	利用者の男女比はどれくらいでしょうか。また、そこから見えてくる男女共同参画推進の課題はありますでしょうか。
2	派遣事業者の確保の難しさはどこにあると分析されていますか。また、確保の工夫はどのようにされていますか。
3	ヤングケアラーの多くが「きょうだい育児」をしている実態が国の全国調査で明らかになりました。子どもに過度な負荷が係っている場合も、子育てヘルパー派遣が必要と思われますがいかがでしょうか。

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
75	子育て支援拠点施設整備・運営事業	子育て支援政策課	3歳未満の児童及びその保護者が、気軽に集い交流を図れる場を提供するとともに、保護者に対し育児不安などについての相談指導を実施します。 【数値目標】 「単独型施設数」 10カ所（平成29年度末） →10カ所（平成35年度）

＜質問事項＞

1	男性保護者の参加は、どのくらいあったのでしょうか。
2	今後の取り組みとして男性保護者向けの講座開催を掲げているが、現在も「パパサンデー」のイベントを開催している中で、逆にイベント日以外は父親が参加しづらいのではと危惧している。実際の各種イベントの父親の参加状況を教えていただきたい。施設ごとにイベントの充実度に大きな差があるようだが、施設同士で情報共有を行っているのかお聞きしたい。
3	今年度の課題に「男性保護者の育児参加を推進する必要」とありますが、男女共同参画に配慮した点には「男女を問わず～」とあります。 今までに男性保護者向けのイベントや男性保護者が参加しやすい環境づくりで行ってきたことがあれば教えてください。
4	利用者の男女比はどれくらいでしょうか。また、そこから見えてくる男女共同参画推進の課題はありますでしょうか。
5	イベントの内容はどのようなものでしょうか。

外部評価対象事業に係る質問項目一覧（所管課：子育て支援政策課2/2）

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
76	子育て情報の提供	子育て支援政策課	子育て応援ダイヤルの実施、子育て応援ブックなどの情報誌の発行、子育て専用のホームページ「さいたま子育てWEB」の運営など、市内の子育てに関する情報を集約し、広く提供します。 【数値目標】 「子育て応援ブックの発行数」 50,000部（平成29年度末） →50,000部（平成35年度）

＜質問事項＞

1	父親のプレゼンスも確認でき、冊子標記の方向性は評価します。その上で、父親が子どもの典型的なケア（食事、衛生など）をしているイラストは存在するか伺いたい。
2	HP、WEB、冊子の作成に、当事者の意見を反映する工夫はされていますか。また、評価はどのようにされていますか。

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
77	子育て支援ネットワークの充実	子育て支援政策課	市民サービスの向上を図るため、子育て支援関係機関、団体等が連携し、子育て支援に係る様々な課題について情報を共有し、意見交換を行います。 【数値目標】 「ネットワーク会議の開催回数」 1回（平成29年度末） →1回（平成35年度）

＜質問事項＞

1	「子育て支援関係機関、団体等」とありますが、具体的にどのような機関や団体がありますか。
2	年1回の会議開催ということで、参加団体が多く情報共有のみで終了してしまうのではと思われるが、年1回でも開催することの意義や、それによる効果を教えていただきたい。
3	ネットワーク会議の設置が進んでいない区はいくつあるのでしょうか。各区1つのネットワーク会議の設置を目指しているということでしょうか。
4	「開催回数1回」の数値目標とは、どういう意味でしょうか（どこかの区でいずれかのネットワーク会議が開催されれば「1回」なのか。あるいは全市的なネットワークの会議を指すのか）。
5	ネットワーク会議の設置が進んでいない区の問題（背景）はどこにあると分析されていますか。また、設置についての工夫はどのようにされていますか。

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
102	ひとり親家庭の生活安定と自立支援	子育て支援政策課	ひとり親家庭の父母等の就業・自立を促進するため、相談から情報提供までの一貫した就労支援サービスを提供するとともに、養育費の確保を含めた生活安定のための相談を行います。 【数値目標】 「ひとり親家庭等介護職員初任者研修の参加者数」 28人（平成29年度末） →30人（平成35年度）

＜質問事項＞

1	「前年度の評価を踏まえて男女共同参画に配慮した点」に「平日開催を増やした」とありますが、休日よりも平日に開催する意義（メリット）をご教示ください。
2	利用者の男女比はどれくらいでしょうか。また、そこから見えてくる男女共同参画推進の課題はありますでしょうか。

外部評価対象事業に係る質問項目一覧（所管課：子ども家庭総合センター総務課1/1）

※推進事業の取組状況については資料１－４をご参照ください

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
73 Ⅶに 再掲	子どもショートステイ事業	子ども家庭総合センター総務課	疾病、疲労、怪我、看護、冠婚葬祭、出張、災害などの理由により、家庭においての養育が一時的に困難になったとき、児童養護施設などに空きがある場合、児童を短期間預かります。 【数値目標】 「契約施設数」 6施設（毎年度契約） （平成29年度末） →6施設（毎年度契約） （平成35年度）

＜質問事項＞

1	「自己評価A」となっているが、目標数と同等であり、「目標を概ね達成できた」の「B」に該当するのではないか。
2	6施設増えたとのことですが、利用実績(延べ人数4名等)が少ないように思いますが、その点はいかがなのでしょうか。
3	希望に応じられない場合の訪問事業等についてお考えでしょうか。

外部評価対象事業に係る質問項目一覧（所管課：地域医療課1/1）

※推進事業の取組状況については資料１－４をご参照ください

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
74	小児救急医療体制の充実	地域医療課	子どもが急病のときに看護師などがアドバイスを行う「さいたま市子ども急患電話相談」を実施します。また、市民向け医療機関情報検索サイト「さいたま市医療なび」を公開します。

＜質問事項＞

1	「子ども急患電話相談」の利用実績（件数）や主訴、対応状況など、相談対応の分析や課題などを簡単でかまいませんので教えてください。

外部評価対象事業に係る質問項目一覧（所管課：青少年育成課1/2）

※推進事業の取組状況については資料１－４をご参照ください

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
78	親子教室の開催	青少年育成課	児童センターの自主事業として保健師による健康の話、赤ちゃん体操や手遊び、絵本の読み聞かせ、工作など様々な教室を開催します。

＜質問事項＞

1	利用者の男女比はどれくらいでしょうか。また、そこから見えてくる男女共同参画推進の課題はありますでしょうか。

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
84	放課後児童健全育成事業	青少年育成課	児童福祉法に基づき、公設及び民設の放課後児童クラブにおいて、就労などにより保護者が昼間家庭にいない小学生に適切な遊びや生活の場を提供し、健全な育成・指導を行います。 【数値目標】 「利用ニーズに対する入所者の割合」 96.6%（平成30年4月1日） →100%（平成35年度）

＜質問事項＞

1	「公設クラブ74、民設クラブ209」、そして「民設放課後児童クラブの新設等により」とあるように、受け入れ施設の数は増加しています。しかし、放課後児童の「健全な育成・指導」のための「質」はどのようになっているか、市として検証して行く必要があると考えます。放課後児童は、宿題・自習・遊び・休養・他の子供達とのふれあいなど、心身ともに、多様な必要事項を持っています。学校と家庭との橋渡しをするクラブとして、多様多岐にわたる必要事項に適切に対応できる、場・管理・運営・活動・指導員などに関し、質を高める努力・調査はどのようになっているのでしょうか。
2	「受け入れ可能児童数を拡大」とあるが、実際のクラブの増加数をお聞きしたい。

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
104	さいたま市子ども・若者支援ネットワーク	青少年育成課	子ども・若者育成支援推進法に基づき、社会生活を営む上での困難を有する子ども・若者に対する支援を効果的に実施するためにネットワーク会議を開催します。 【数値目標】 「さいたま市子ども・若者支援ネットワーク 開催回数」 5回（平成29年度） →6回（平成35年度）

＜質問事項＞

1	ネットワーク会議が、コロナ感染拡大のため書面開催1回のみとのことですが、オンライン会議を実施すれば、H29年度レベルの開催回数は得ることができると思います。ネットワークが目的ですから、直接意見交換する場は多数ある方が好ましいと考えます。会議開催努力に関し、お考えをお知らせください。
2	男女共同参画推進へ向けた性別ごとの課題はありますでしょうか。
3	ユースアドバイザーの養成研修に、ヤングケアラー・若者ケアラー支援の視点は入っていますか。もし無いとすれば、今後どのようにお考えでしょうか。

外部評価対象事業に係る質問項目一覧（所管課：青少年育成課2/2）

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
105	さいたま市若者自立支援ルーム	青少年育成課	社会生活を営む上で困難を有する若者を対象に、個人の状態にあわせた自立支援プログラムを実施し、円滑な自立を果たせるよう支援します。 【数値目標】 「若者自立支援ルームの年間延べ利用者数」 9,300人（平成29年度） →12,000人（平成35年度）

＜質問事項＞

1	オンライン面談や電話相談の件数・内容など、把握されている範囲で結構ですので、ご教示いただければと思います。 さいたま市でも、おもに中高生で学校や家庭に居場所がなく、自殺企図や家出をして未成年者略取・誘拐・強制わいせつ等の被害に遭う事例が報道されますが、そうした子を発見し支援につなげる（アウトリーチする）ための工夫などありましたら、ご教示ください。
2	「男女問わず参加できるプログラム」「男女問わず参加できるような～」とありますが、男女で課題やニーズが異なる傾向は特にない（共通のプログラムでかまわない）ということでしょうか。また、利用者数の性別の偏りはありますか。あるとすれば、その偏りを解消するために何か工夫はされていますか。
3	「女性が利用しやすい環境を整える」とは具体的にはどのようなことでしょうか。
4	男女共同参画推進へ向けた性別ごとの課題はありますでしょうか。
5	近年、とくに、性的被害を受けた方、若い女性、ヤングケアラーに対しての自立支援が必要とされていると思いますがいかがでしょうか。

外部評価対象事業に係る質問項目一覧（所管課：保育課1/1）

※推進事業の取組状況については資料１－4をご参照ください

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
80	認可保育所の延長保育・一時預かり事業	保育課	子育てと仕事の両立を支援するため、認可保育所における延長保育及び一時的に家庭での育児が困難な場合や保護者の育児疲労の解消に対応するため、一時預かり事業を拡充します。

＜質問事項＞

1	施設数増加により「自己評価 A」に該当すると思われるが、「B」としている理由を教えていただきたい。

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
85	障害児保育の充実	保育課	障害のある子どもを幅広く認可保育所で受け入れ、集団保育の中での健全な成長・発達を促します。

＜質問事項＞

1	「重度障害児の受け入れの推進」の状況について、少し詳しく教えてください（実際に受入数が増加したのか、推進のために取り組んだことなど）
2	医療的ケア児に対応していただくのはなかなか難しいと当事者の方から伺うことがあります。いかがでしょうか。

外部評価対象事業に係る質問項目一覧（所管課：のびのび安心子育て課1/1）

※推進事業の取組状況については資料１－4をご参照ください

事業番号	推進事業	所管課	事業内容
81	病児保育室の拡充	のびのび安心子育て課	保育所などを利用中の児童が、病気又は病気回復期のため集団保育が困難な時期に、病院又は保育所などの専用スペースで一時的に預かる「病児保育」の実施施設を拡充します。 【数値目標】 「病児保育室施設数」 9施設（平成30年4月1日） →12施設（平成32年度）

＜質問事項＞

1	各施設の利用状況（利用希望者数および受入数等）を教えてください。 また、上記の利用状況も含め、施設の質的な課題を教えてください。 （拡充には質の維持・向上を同時に検討していく必要があると考えるためお聞きします。）